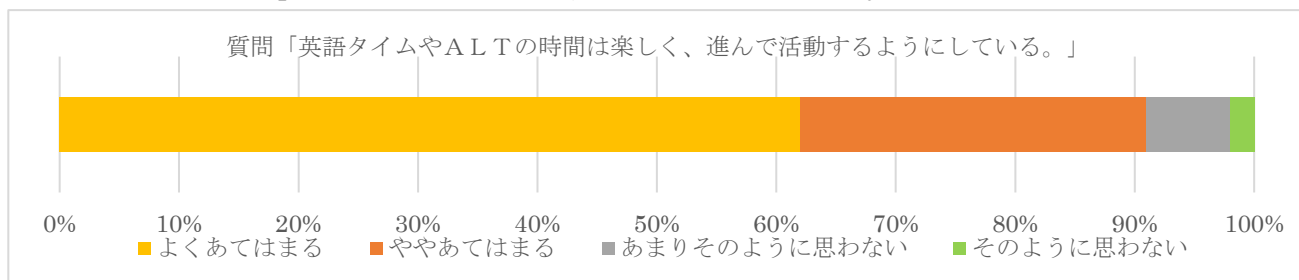


令和5年度 英語活動実施状況について

1 自己評価結果

令和5年度に行った1年生から6年生の児童のアンケートでは、「英語タイムやALTの時間は楽しく、進んで活動するようにしている」という質問に対し、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の91%でした。

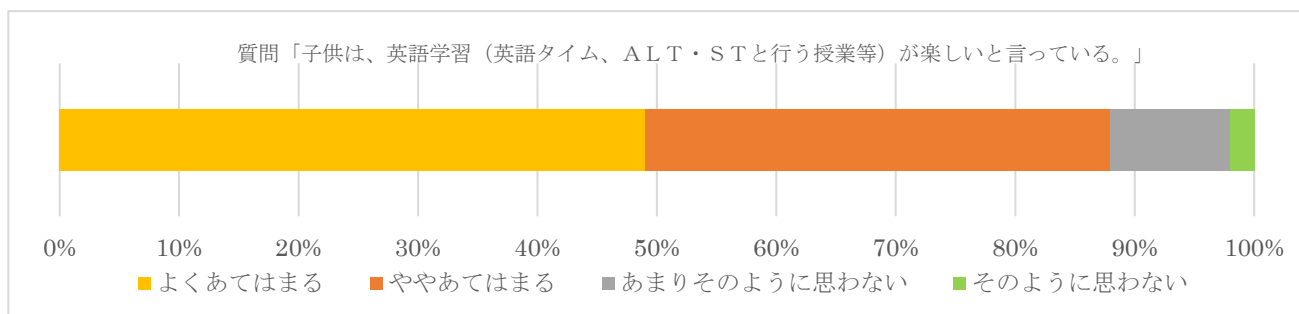


【資料1】児童のアンケート結果

このことから、多くの児童が、毎日の英語活動に意欲的に取り組んでいることが分かります。

2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子供は、『英語学習』（英語タイム、ALT・STと行う授業等）が楽しいと言っている」という質問に対し、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の88%でした。



【資料2】保護者のアンケート結果

このことから、保護者は児童の英語に取り組む様子に関心があり、多くの保護者は、児童が英語学習を楽しんでいると感じています。

3 まとめ

児童の様子からは、DVDを視聴しながら、日常会話で使う英語や英語の歌を繰り返し練習することで、英語に慣れ親しむことができています。

また、資料1・2からは、高い割合で、英語活動に楽しく積極的に取り組んでいることも言えます。しかし、1%の児童が楽しく取り組むことができていないことが課題です。

今後、DVD視聴のあとの4分間の担任による指導内容の工夫など、英語活動の内容や効果的な運用を考えていくことが、より一層の児童の理解や技能、英語に対する意欲化につながると考えます。